

別添様式1-(1)

自然環境整備計画(国立公園整備事業)
【平成27年度～令和元年度】

かながわけん
神奈川県

平成27年3月
変更 令和元年12月

自然環境整備計画(国立公園整備事業)の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	神奈川県	個別地域	富士箱根伊豆国立公園(箱根地域)
-------	------	------	------------------

計画期間	平成 27 年度 ~ 令和 元 年度
------	--------------------

目標
 国際的な観光施設としての環境整備を進めるとともに、老朽化施設の再整備による利用者の安全確保を図ることにより、利用者数の増加を目指す。

目標設定の根拠
個別地域の現状
 富士箱根伊豆国立公園(箱根地域)は、県南西部に位置し、箱根最高峰の神山や芦ノ湖を中心として仙石原湿原や須雲川など変化に富んだ地形を有している。また、「箱根十七湯」と言われるように温泉が多く点在し、閑所や旧街道の石畳など史跡も多いことから、国際的な観光地となっている。特に大涌谷園地は、箱根火山の噴煙地が間近に観察できることから自然研究路を整備しており、外国人観光客が多く訪れている。

課題
 近年の観光客の増加、特に外国人観光客の増加に対応した国際的な観光施設としての環境整備や、老朽化施設の再整備による利用者の安全確保が求められている。また、噴火に備えた安全対策についても課題となっており、特に大涌谷園地においては噴煙地としての安全対策と併せて対策が求められている。

個別地域の整備方針	方針に沿った主要な事業
今後増加が見込まれる外国人観光客を含めた公園利用者の安全確保のために、噴火等を想定した自然研究路及び安全対策施設の整備を行うとともに、国際化に対応した施設整備として、多言語表記の案内看板及び注意看板の設置を行う。更に、老朽化した既存施設を再整備することにより、公園利用者の安全確保及び快適な公園利用を園地全体として図る。	大涌谷園地事業

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
						基準年度	目標年度
国立公園利用者数	人	富士箱根伊豆国立公園(箱根地域)の利用者数	自然公園等利用者数調	富士箱根伊豆国立公園(箱根地域)の利用者数を指標とし、現行より5%の利用者数の増加を目指す。	2,086万人	平成25年度	2,190万人 令和元年度

その他必要な事項

(国立公園整備事業)交付対象事業等一覧表(1)

(金額の単位は千円)

交付対象事業費		110,759		交付限度額		55,379									
番号	公園名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体 事業費	(参考)全体事業期間		交付対象 事業費	(参考)うち 都道府県費	(参考)うち 市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度				1年目(27年度)	2年目(28年度)	3年目(29年度)	4年目(30年度)	5年目(元年度)
1	富士箱根伊豆国立公園(箱根地域)	大涌谷園地整備事業	ハコネ 富士 箱根町	神奈川県	110,759	27	元	110,759	55,380	0	0	6,500	28,000	76,259	0
合計					110,759			110,759	55,380	0	0	6,500	28,000	76,259	0

(参考)自然環境整備計画(国立公園整備事業)(神奈川県)の概要図

個別地域 富士箱根伊豆国立公園(箱根地域)	所在地	箱根町
-----------------------	-----	-----

